

第511回 IBC番組審議会

1. 開催日時 平成18年6月21日(水) 午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|-------------|
| 委員総数 | 11名 |
| 出席委員数 | 9名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 吉沢 正則 |
| 副委員長 | 田代 高章 |
| 委員 | 河村 泰信 熊谷志衣子 |
| | 小松 務 澤口たまみ |
| | 高橋 健悦 米谷 春夫 |
| | 宮澤 徳雄 |
- 欠席委員の氏名 中原 志郎 矢佐 俊幸
- 会社側出席者
- | | |
|-------|------------|
| 小西 隆昭 | 代表取締役社長 |
| 阿部 正樹 | 代表取締役専務 |
| 川島 敬司 | 常務取締役 |
| 菅野 秀樹 | 取締役テレビ営業局長 |
| 柴田 継家 | 報道局長 |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長 |
| 角館 郁也 | 制作部長 |
- 事務局
- | | |
|-------|------------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議題 IBC特集「ふるさとに咲け！廃校の桜」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ・先人が開いた当時のことを掘り起こしながら、自然に囲まれた田舎暮らしの楽しみ方を模索しているような気がした。
- ・きちんと岩手の良さを評価できる人の意見を取り入れ、それをうまく巻き込んで地域づくりをしていくことが、過疎の地域の閉塞した状況を打破していく一つのヒントになっているように思った。
- ・地元で頑張っている人たちの応援歌として見る事ができた。
- ・廃校は避けて通れないし、これから増えていく状況にある。活用の仕方にヒントを与えてくれたし、問題提起をしたテーマだと思う。
- ・当時の子供たちや地域の人たちが、学校の再利用をどのように受け止めているのか、感想なども紹介して欲しかった。

<社側>

- ・廃校を活用している事例はたくさんあり、例えばアトリエになったり産直になったり、生涯学習センター、デイサービスセンターというものもありました。その中でも、特に自治体ではなく民間の人が運営している所と、タイムリー性も加味しながら3つの廃校跡を取材しました。
- ・小さな集落は大変な状況になっている中で、自分たちの力で希望を持って活動している。今回、このタイトルでやりたかったのは「廃校になって何年経っても、毎年桜はきれいに咲くんですよ」という話を地域の方から聞きました。子供たちの声が聞こえなくなった村でも、学校の桜はきれいに咲く。そういうエピソードなどが組み合わせあって番組を作りました。
- ・廃校の活用事例といっても、公民館のように地域の人たちが手弁当で何かに使えれば良いというものから、収入を見込んで地域の活性化というか、広い意味での外との交流まで見込んだものと様々あり、これからも色々な事例を取材していきたいと思います。